

裾野市長泉町衛生施設組合では、平成29年度に「裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設整備基本計画」を策定し、平成33年度(2021年度)中の供用開始を目指して新火葬施設の整備を進めています。このたび、基本計画を踏まえ、施設建築計画の方針を定めた基本設計を策定しました。今後は、この基本設計に基づき、より詳細な実施設計を進めていきます。

設計コンセプト：  
霊峰富士に見守られ、心穏やかに故人を見送ることができる安らぎの場

富士山の景観を活かしたシンメトリー(左右対称)の施設づくり

- ・ 主要な設備である炉機械室を1階に配置し、建物の高さを極力抑えることで、富士山の景観に配慮した計画とします。
- ・ 外観はシンメトリー(左右対称)を強調した格調ある構成とし、シンメトリーな美しさを誇る富士山と呼応するデザインとします。

この地域、この場所に最適な機能的な火葬施設

- ・ 葬家のプライバシーに配慮し、場内の2ゾーン化、回遊型の儀式動線により、スムーズな儀式的進行が可能な計画とします。
- ・ 地域の慣習を踏まえた諸室の計画により、この場所に合った最適な施設を計画します。



外観イメージ



位置図

鳥瞰イメージ

1. 計画概要

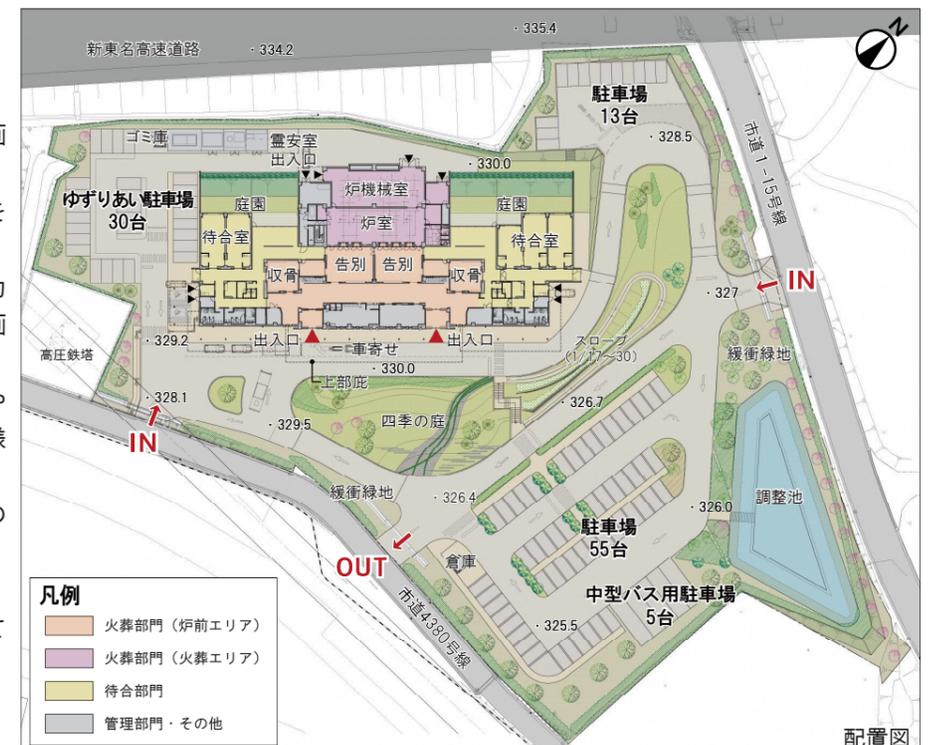
計画地	静岡県裾野市今里 343-1 ほか
敷地面積	17,222.55 ㎡
都市計画区域	市街化調整区域
用途地域	用途地域の指定のない区域 (市街化調整区域)
用途	火葬場
構造規模	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、 地上2階建
建築面積	2,886 ㎡
建蔽率	16.75%
床面積	火葬施設本体：2,960 ㎡ (1F：2,360 ㎡、2F：210 ㎡、 車寄せ庇：390 ㎡ [床面積算入部]) 外部ゴミ庫：15 ㎡ 外部倉庫：15 ㎡ 合計：2,990 ㎡
容積率	17.36%

火葬炉数	人体炉4炉+将来増設1炉
排気方式	2炉1排気系統 (将来増設炉は1炉1排気系統)
排ガス冷却設備	熱交換冷却式
火葬炉燃料	都市ガス、LPガス併用
駐車場	合計約100台
計画諸室	
告別室	2室(各50~70人利用) 直葬(※1)など最期のお別れも可能
収骨室	2室(各50~70人利用)
待合室	5室(54人×4室、36人×1室)
多目的室	1室 会議室としての利用や、直葬(※1) など最期のお別れの場として使用 (宿泊を伴う利用は不可)
その他の諸室	待合ホール、キッズルーム、授乳室、 更衣室等 ※式場部門は設けません。
概算工事費	約18億9000万円
工期	2019年度～2021年度

(※1) …直葬：通夜・告別式等の儀式は行わず、自宅または病院から直接火葬施設にご遺体を運び火葬する方式

2. 配置計画

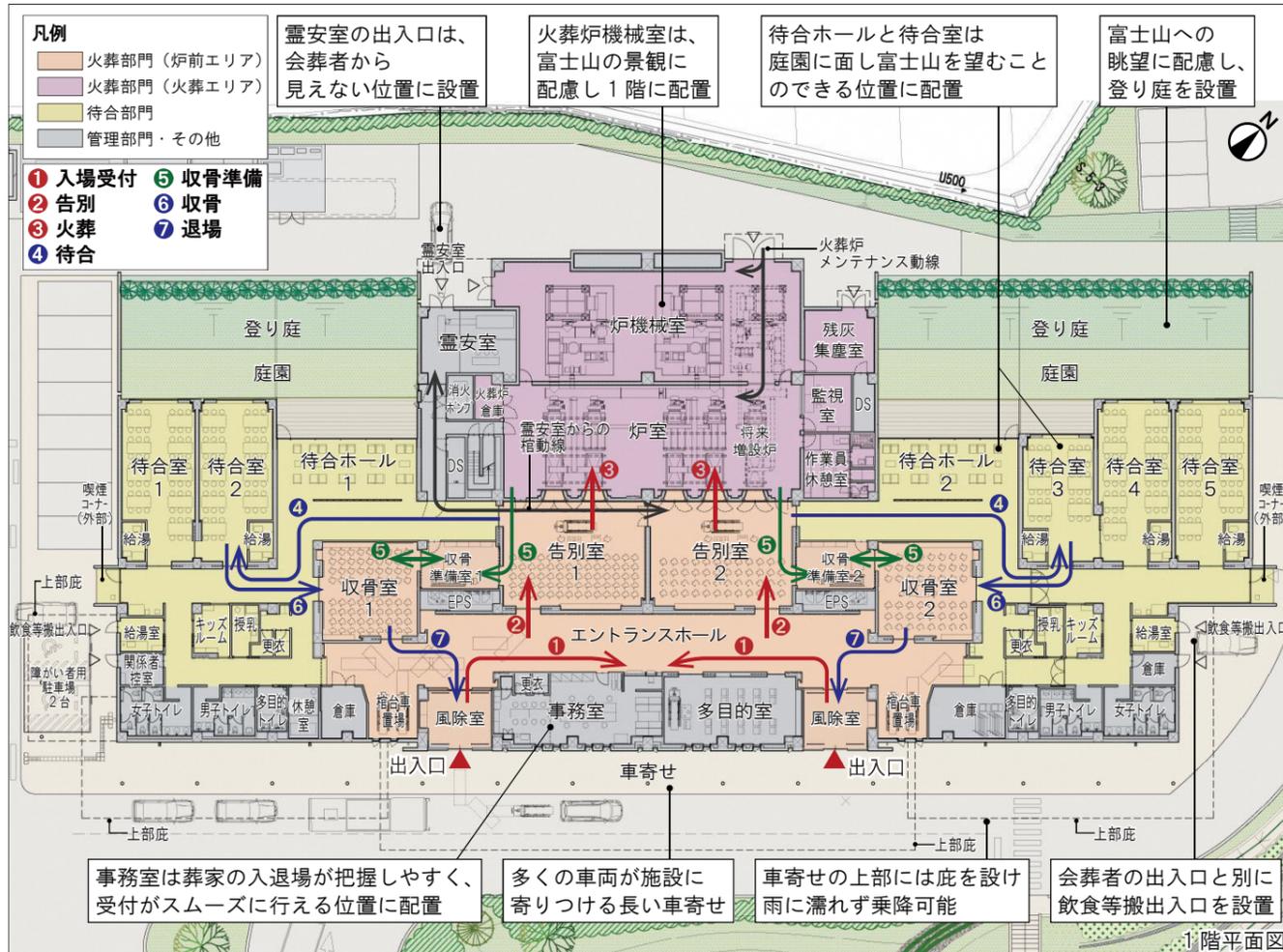
- ・ 施設の室内から富士山が望める造成計画、配置計画とします。
- ・ 高齢者の利用も多いことから、建物、車寄せ、駐車場は、バリアフリーに配慮した計画とします。
- ・ 敷地の周囲には、緑地等の緩衝空間を整備し、周辺環境と調和する計画とします。
- ・ 造成土の切り盛りを調整し搬出を極力抑え、造成コストや環境に配慮した計画とします。
- ・ 中型バスの利用を想定し、車両道路やロータリーは中型バスが転回可能な仕様とします。
- ・ 一方通行の車両動線を原則とし、場内の交通安全に配慮した計画とします。
- ・ 将来の建替を考慮した配置計画とします。
- ・ 工事中も現裾野市斎場が火葬施設としての尊厳性を保ち運営することができるよう、工事区画を明確に区分できる計画とします。



配置図

### 3. 平面計画

- ・場内を左右に2つのゾーンに分け、各ゾーンに出入口を設けることで場内の混雑を緩和します。また、火葬件数が少ない場合は、片側のみでの運営を可能とし、維持費や運営費を抑えられる計画とします。
- ・一連の儀式動線を回遊型の動線とします。他葬家と交錯しない動線とすることで厳粛な儀式が可能な計画とします。
- ・高齢者や心身の疲労のピークにある親族に配慮し、短い儀式動線とします。
- ・両市町が共同で実施する「みんなで子育てするまち推進事業」の取り組みを踏まえて、キッズルームを設置します。



### 4. 外装計画

- ・外観正面のデザインは、最期のお別れの場にふさわしい佇まいとなるよう、シンメトリー（左右対称）を強調した庇で格調ある構成とします。シンメトリーな美しさを誇る富士山にふさわしい形とします。
- ・外装仕上げは、火葬施設にふさわしい落ち着いた色調の仕上げとするとともに、耐久性・メンテナンス性・経済性を考慮した合理的な材料を選定します。

正面の出入口部の外壁： 黒～暗褐色タイル <i>参考イメージ</i>	正面のその他の外壁： コンクリート 杉小幅板打ち放し <i>参考イメージ</i>	車寄せ庇の軒天井： 木目調塗装 金属パネル <i>参考イメージ</i>
--	---	--



### 5. 内装計画

- ・火葬施設にふさわしい落ち着いた色調の仕上げとするとともに明るい色調の計画とします。
- ・耐久性・メンテナンス性・経済性を考慮し、それぞれの諸室に適した内装計画とします。

#### ■ 告别室 〈故人の尊厳を守る空間〉



壁や床に花崗岩を使用し、火葬炉化粧扉上部のハイサイドライトから自然光を取り入れることで、故人の尊厳を守る厳粛な雰囲気演出します。天井は、木調の化粧天井とし、木材の温かみもある空間とします。

#### ■ 待合室 〈富士山を眺める落ち着いた空間〉



天井・床・腰壁に木調材料を使用した温かみのある空間とします。腰壁は、耐久性・清掃性が高いメラミン化粧板とします。床は、食事することに配慮し、清掃がしやすく耐久性も高い木調ビニル床タイルとします。

#### ■ 収骨室 〈収骨に向き合う空間〉



木調の船底天井に包まれた落ち着いた空間とします。入室して正面の壁は、石調タイルとし、故人への尊厳を表現します。床は石調タイルとし、清掃しやすく、滑りにくい仕上げとします。

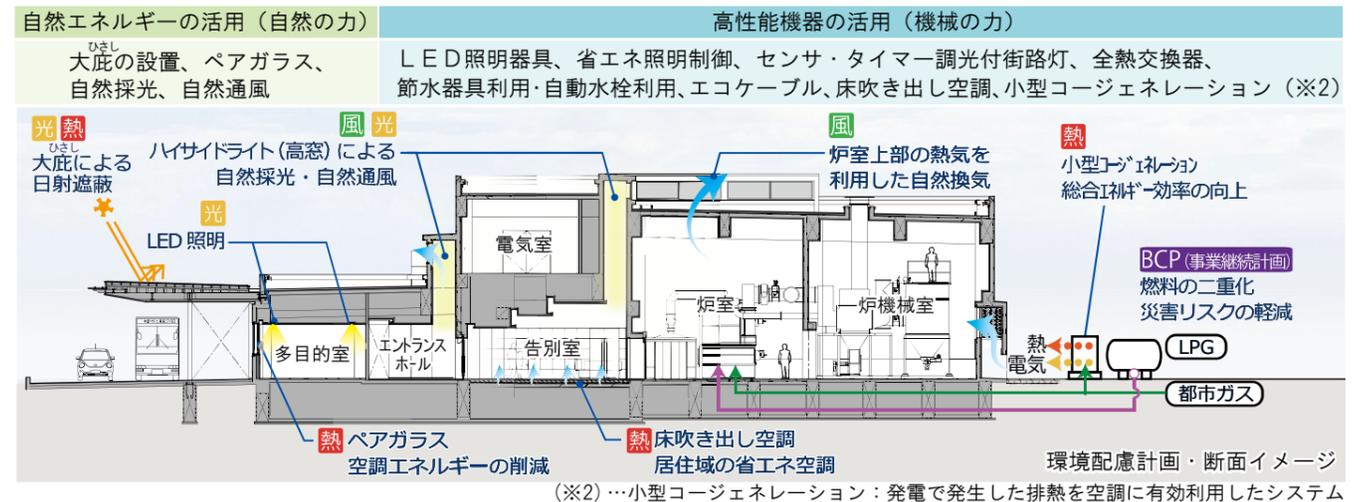
#### ■ 待合ホール 〈富士山を眺める落ち着いた空間〉



天井に木調材料、床にタイルカーペットを使用し、快適に過ごせる落ち着いた空間とします。富士山を眺めることができる大きな窓を設け、窓越しに庭の緑も感じることができる計画とします。

### 6. 断面計画・環境配慮計画

- ・火葬炉機械室を1階に配置することで、建物高さを抑え、周囲の景観に配慮した計画とします。
- ・エントランスホール、告别室にはハイサイドライト（高窓）を設けることで、内部に自然採光を取り入れた計画とします。
- ・自然の恵みを活かしつつ、省エネルギー性・災害時対応に優れた環境配慮計画とします。



### 7. ユニバーサルデザイン計画

- ・誰もが安心して利用できる施設とするため、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
- ・場内の床は段差をなくし、告别室や収骨室にはベンチや手摺を設ける等、高齢者等の利用に配慮した計画とします。
- ・サインは、利用者の目の高さを考慮した見やすい位置に配置し、大きな文字やピクトを用いたわかりやすい計画とします。

### 8. 災害対策・構造計画

- ・非常用発電機の設置により、火葬中に電力供給が途絶えた場合も火葬を継続して完了できる計画とします。
- ・供給面、経済面、環境面を考慮した結果、火葬炉燃料を二重化（都市ガス・LP ガス）することで、災害発生後も火葬業務を継続できる計画とします。
- ・構造体は、大地震動後も大きな補修をすることなく建築物を使用できるよう、機能と安全が確保できる計画とします。